

令和6年度「医工連携イノベーション推進事業」  
「医療機器産業クラスターとの近接性を活かした、  
医療機器開発回廊の形成に係る研究」

2025年2月14日

公益財団法人やまなし産業支援機構  
メディカル・デバイス・コリドー推進センター  
コーディネーター  
(日本コンベンションサービス株式会社  
ヘルスケアビジネス部)

尾谷 洋平

# 山梨県が持つ地域の特長について

## 産業的特長

産業用ロボット・半導体製造装置・工作機械の  
グローバル企業が立地

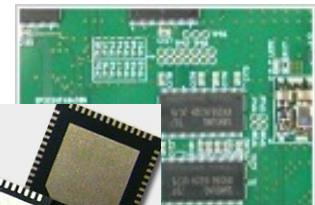
これらを支える機械電子産業などのものづくり企業  
が高度に集積



電子デバイスの例

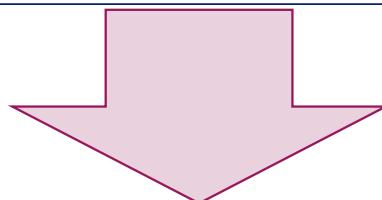


金属加工の例



## 地理的特長

医療機器産業が集積している静岡県東部地域・  
東京都多摩地域と隣接



## これらの特長を活かし

2020年3月に「メディカル・デバイス・コリドー推進計画」（第1期計画）を策定  
→ 県内企業の医療機器産業への参入を支援



メディカル・デバイス・コリドー推進  
センターの設置

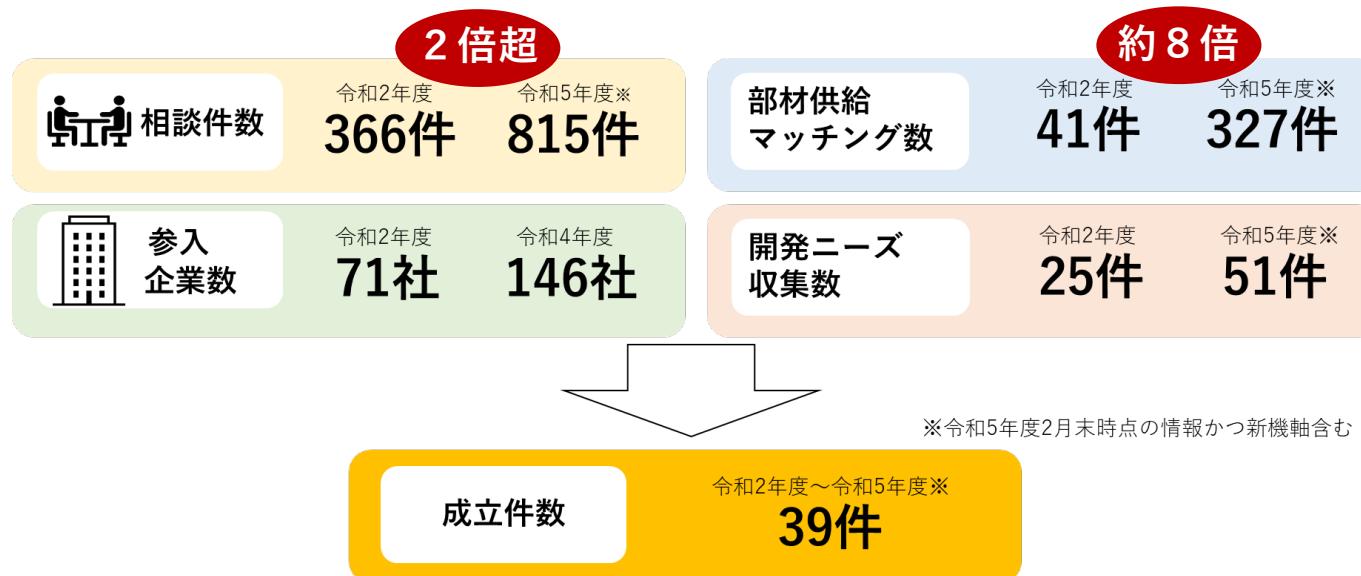
# メディカル・デバイス・コridoー第1期の成果「参入支援と事業機会の創出」

## 【参入支援】

- 参入企業数は目標の100社を大きく上回った。→ 2024年3月末時点では167社。

## 【事業機会の創出】

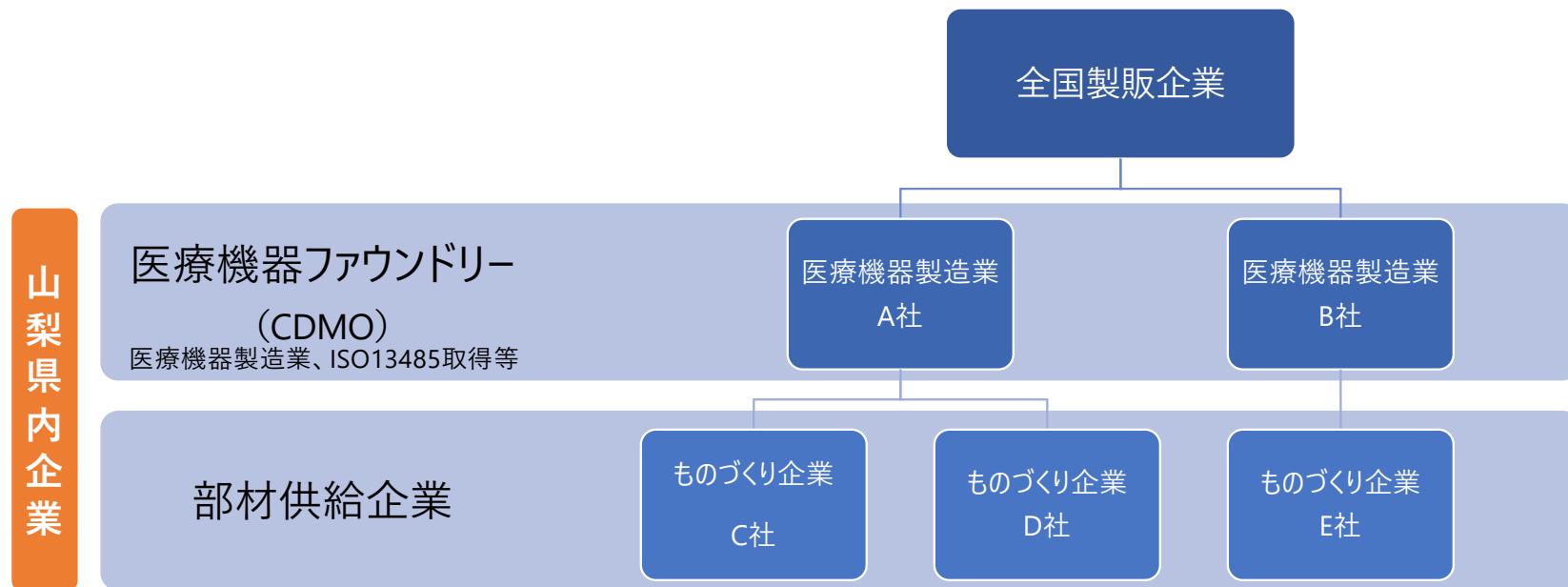
- センター発足から4年目となる令和5年度において、相談件数は2倍以上に増加。
- 部材供給マッチング数は約8倍となり、参入だけでなく取引成立も含めた事業機会を創出。



## メディカル・デバイス・コリドー第2期の取組「全県ファウンドリー化」

- ▶ 山梨県は、2023年11月に策定した「メディカル・デバイス・コリドー推進計画2.1」の中で、「全県ファウンドリー化」を掲げた。
- ▶ 医療機器生産の分業体制において、製造受託の拠点を形成することを目指す。

【参考】医療機器関連分野ファウンドリー専任コーディネーター設置業務（山梨県事業：2024年6月開始）  
(1) ファブレス企業、スタートアップ企業に対する医療機器等に関する発注開拓  
(2) 発注ニーズに対するフォローアップ（マッチングの実施、進捗の把握等）



# 地域連携拠点における取組：強みを活かし、課題を克服する

## 強み：安定した製造基盤

- 産業用ロボット・半導体製造装置・工作機械のグローバル企業に対する供給実績
- メディカル・デバイス・コリドー第1期計画期間を通じた医療機器部材等の供給実績
- 山梨大学・医療機器産業技術人材養成講座を通じた技術者の育成

## 課題：部材供給実績から開発への展開

- ・ 機器の基幹部分への部材供給
- ・ 自社での医療機器開発
- ・ 医療機器メーカーへの改良提案



供給した部材（自社の技術）が  
医療機器において  
どのように活用されているかわからない…  
→ 次の製品に応用できない

## 本研究における取組

### 自立した医療機器開発回廊の形成を実現するための観点

- ・ 地域での相談人材（事業化人材・専門分野支援人材）の育成
- ・ 事業者間のネットワーク形成、広域連携の構築

# 地域連携拠点における取組：とりかかる前に、課題を整理する

- 開発者と概要資料を作成することにより、臨床ニーズ、薬事、保険、市場性の想定などの検討状況を明らかにする。
- 支援人材が開発者にインタビューを行い、相談しながら論点を整理。

表題（製品名（仮称も可）、研究課題名など）	
<b>製品概要</b>	誰が（使用者の想定）、どこで（診療科を含む）、どのように（使用方法）、効果効能
<b>発案のもととなる臨床ニーズ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・誰の困りごとか（患者、患者の家族、医師、医療従事者、病院事務等）</li><li>・アイデアの有用性（手術時間の短縮、入院期間の短縮等） ※可能であれば、従来の方法に対する有用性等を定量的にお書きください</li></ul>
<b>薬事承認プロセスの想定</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一般的名称</li><li>・クラス：I、II、III、IV、医療用雑品</li><li>・新医療機器・改良医療機器・後発医療機器 (検討していない場合は「未検討」と記入)</li></ul>
<b>市場性の想定</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・保険適用された場合の診療報酬</li><li>・出荷数の想定（適用疾患の患者数、診断・治療実施医療機関数、手術実施数、専門医の数等）</li><li>・シェアの想定</li><li>・競合の調査 など (検討していない場合は「未検討」と記入)</li></ul>
	写真やイメージ図
	スペースが足りない場合は、 スライドを追加すること

# 今年度の取組状況

## 新たな連携先の探索

- 臨床ニーズ収集数の拡大等を目指し、以下の機関に対し、意見交換を依頼。
  - 関東経済産業局管内（1都10県）にある大学・研究機関で、产学連携や医工連携を担当する部署。
  - AMED「優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業」の採択拠点。

## 今年度の実績

- ✓ 5/14 株式会社はままつ共創リエゾン奏  
(浜松医科大学産学官連携実施法人)
- ✓ 7/10 信州大学
- ✓ 7/18 横浜市立大学
- ✓ 7/29 名古屋大学
- ✓ 8/20 大阪歯科大学
- ✓ 8/27 関西医科大学
- ✓ 8/28 大阪医療センター
- ✓ 9/3 東京医科歯科大学
- ✓ 11/15 北海道大学
- ✓ 11/27 国立循環器病研究センター
- ✓ 12/16 国立がん研究センター東病院
- ✓ 12/25 東北大学



# 終わりに

## やまなし産業支援機構にご相談ください

- 医療機器の開発に向けた課題の整理、パートナー企業の探索
- 新しい医療機器の部材を試作・開発・製造する企業の探索
- スタートアップ企業の製造委託先（ODM・OEM）の探索
- 生産力強化やBCPの観点からの製造拠点の多様化

**【問合せ先】** ご不明点・ご質問はメディカル・デバイス・コリドー推進センターまで

TEL 055-220-2091 〒400-0055

✉ mdcc@yiso.or.jp 山梨県甲府市大津町2192-8 アイメッセ山梨3F  
(公財) やまなし産業支援機構内 平日 8:30~17:15

